

「国際社会におけるキャリア入門」講演会

政治経済学部が主催する「国際社会におけるキャリア入門」講演会では、将来、いわゆる「国際社会」で活躍することを目指す学生の皆さんに、「国際社会」にはどのような仕事があるのか、そして、そこで仕事を得るためにはどうしたらよいのか、どのような能力が必要とされるのか、などにつき国際協力関連の仕事を中心にご紹介します。第1回目の今回は、世界銀行グループの国際金融公社（IFC）から講師をお招きし、「ハケンから世界銀行へ：国際公務員のキャリアパスと仕事」をテーマにお話しいただきます。またとない貴重な機会です。是非ご出席ください。

日時 2011年7月14日（木）5時限（16：20～17：50）

教室 駿河台校舎 リバティタワー1096教室（9階）

テーマ 「ハケンから世界銀行へ：国際公務員のキャリアパスと仕事」

国際社会に貢献すべく働く国際公務員だが、具体的にどのような仕事なのだろうか。国際公務員の採用方法や待遇などは、日本の公務員や民間企業への就職と大きく異なっている。これまで、17年間国際機関に勤務している現職の世界銀行グループの職員が、仕事の内容や職場環境、魅力と課題を実体験を元に説明する。特に、インターンや非正規の仕事が、国際公務員の就職に結びついていくという、進学・就職のキャリアパスを示して、国際社会で活躍する方法を解説する。また、国際機関の実際の活動例を挙げながら、その中で具体的な仕事、その醍醐味、苦勞する点、必要とされるスキル、将来の展望と課題について話をする。

講師 畑島 宏之氏
(世界銀行グループ 国際金融公社 (IFC) 独立評価グループ 評価担当官)

プロフィール

大阪市生まれ。コートジボアールのアフリカ開発銀行本部に正規職員として6年間勤務したあと、ワシントン D.C.の世界銀行グループで民間企業向け投資を行う国際金融公社 (IFC) に転職。現在、独立評価グループの評価担当官として民間企業向け投融資・援助の有効性、効率性の分析を行う。ワシントン D.C.在住。

※ 本講演会は政治経済学部が主催するものですが、他学部の学生も自由に参加することが出来ます。事前申込不要・参加費無料です。当日、直接会場にお越しください。

以上